

東日本大震災

被災生徒進学支援

特定非営利活動法人

若草リボン基金の取り組み

復興支援企画

若草リボン基金の方にインタビューをしました!



ティーンズ・フェスタに東日本大震災の復興支援企画として参加された、「若草リボン基金」の鈴木さんにお話を伺いました。

Q どうして若草リボン基金のボランティアをしようと思ったのですか?

A 夏に陸前高田でボランティアをして帰ってきてから、いろいろなことがありました。そのような中、この基金は、支援先が明確で自分で広めていくことができると思ったから始めました。

Q ボランティアをしてみたいのですが、ボランティアを探そうとしたら大変ですか?

A ボランティアをするイベントを探るのが大変でした。ボランティアをしてみたいです。また、将来は世界へ行って人を助ける仕事をしたいです。

Q 被災した方の中には、受験することもできない人もいます。みなさんは、頑張れば何とかなるので、受験できることをすばらしいと思って頑張ってください。

シンボルマークは若草色が「再生・復活」を、双葉が「芽吹き・新芽」を、ハートが「日本、世界中の心がひとつであること」をそれぞれ表しています。

募金ブース



▲都立目黒高等学校旧生徒会のメンバーも募金活動に協力♥左から、小嶋茉莉さん、廣野春桂さん、山下 碧さん。

ティーンズ・フェスタ会場の募金活動とバッジ販売で、**54,424円**の募金が集まりました。



若草リボンバッジ

このバッジの購入金の5000円のうち3000円が支援金としてフリール、親が被災したり職を失ったりした高校生の進学準備金に回されます。



▲区長も若草リボンバッジを購入してくれました。

▲目黒区民センターのホール入り口に設置された若草リボン基金のブース。



ご賛同いただき、募金してくださいました方、バッジを購入していただいた方に感謝いたします。



◆問い合わせ先◆

若草リボン基金事務局

☎0198 (41) 9004 平日 9:00~18:00

HP <http://www.bgr311.net/>

取材: 山田彩羅、鍋田慈音 イラスト: 高橋学、パロウ・カミール

Teens Festa 無事終了!

みなさん、お疲れさまでした。

▲お揃いの「めぐろう」編集員Tシャツで受付と取材、がんばりました!



▲フェスタが終わったあとのスタッフお疲れさまでした。ジュースで乾杯!



▲ステージで、スタッフと出演者で記念撮影。司会、照明など、お疲れさまでした!

メッセージ

たくさんの方のメッセージが集まりました。



私たちは東日本大震災を忘れていません。